

平成29年12月5日

**「2017年ノーベル物理学賞・化学賞解説セミナー」
を開催します**

今年のノーベル物理学賞は、重力波検出器LIGOによって世界初の「重力波」観測に成功したアメリカの研究者、レイナー・ワイス博士、バリー・バリッシュ博士、キップ・ソーン博士へ贈られることが決定しました。

また、ノーベル化学賞は、クライオ電子顕微鏡法を開発したヨアヒム・フランク博士、ジャック・ドゥボシエ博士、リチャード・ヘンダーソン博士へ贈られることが決定しました。

これを受けて当センターでは、一般の方、学生、教職員を対象として、2017年ノーベル賞の物理学賞及び化学賞の解説セミナーを開催することといたしましたので、是非ご参加ください。

記

【2017年ノーベル物理学賞・化学賞解説セミナー】

●日時：2017年12月16日（土） 午後1時から午後5時まで

●場所：広島大学東千田未来創生センター M401講義室

（広島市中区東千田町1-1-89）

●内容：

1. 「重力波研究100年」

小嶋 康史 教授（広島大学大学院理学研究科）

2. 「早くも捉えられた重力波源天体」

川端 弘治 教授（広島大学宇宙科学センター）

3. 「中性子星合体 ～太陽系材料物質の「生成場所」という観点から～」

寺田 健太郎 教授（大阪大学大学院理学研究科）

4. 「クライオ電子顕微鏡法の進展と今後の発展と課題について

～今まで見えなかった細胞超微細構造のラビリンスを探検できれば面白い～」

岩根 敦子 教授（大阪大学生命機能研究科，理化学研究所，広島大学大学院理学研究科）

●申込等：参加費は無料、事前申込み不要

主催：広島大学理学研究科附属理学融合教育研究センター

【お問い合わせ先】

広島大学大学院理学研究科附属理学融合教育研究センター 中本 知範

電話：082-424-7314

E-mail: ri-kenkyu@office.hiroshima-u.ac.jp

2017年ノーベル物理学賞・ 化学賞解説セミナー

日時 2017年12月16日(土) 13:00~17:00

場所 広島大学東千田キャンパス 未来創生センター
M401講義室 (広島市中区東千田町1-1-89)

参加費 無料

申込 不要

テーマ・講師

1. 「重力波研究100年」

小畷 康史 教授 (広島大学理学研究科)

2. 「早くも捉えられた重力波源天体」

川端 弘治 教授 (広島大学宇宙科学センター)

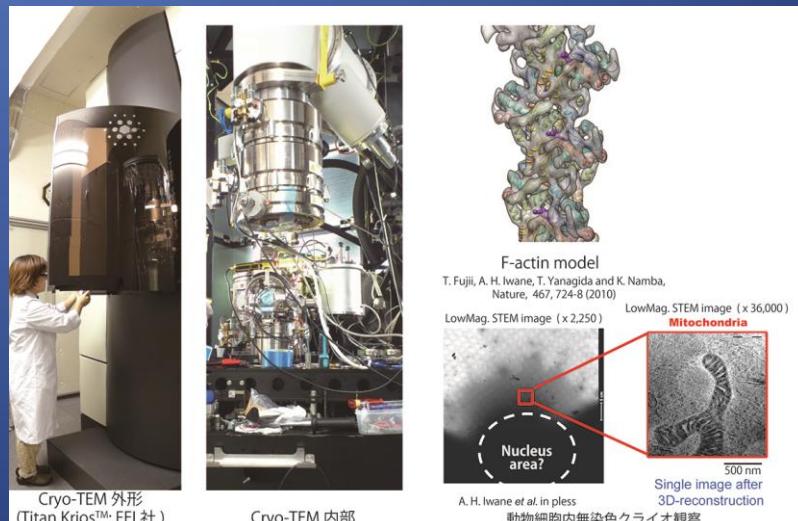
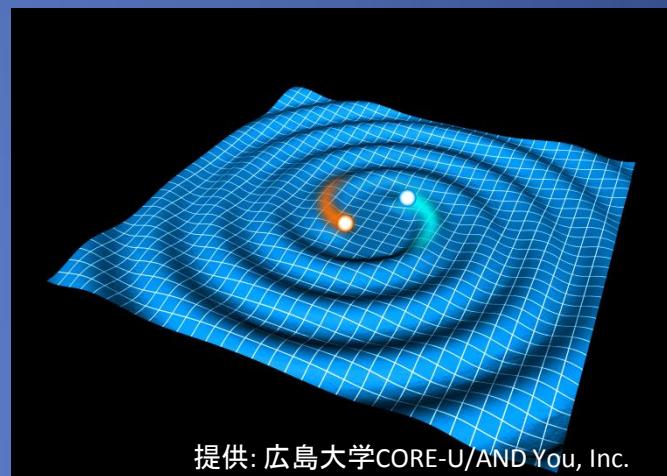
3. 「中性子星合体 ~太陽系材料物質の「生成場所」という観点から~」

寺田 健太郎 教授 (大阪大学大学院理学研究科)

4. 「クライオ電子顕微鏡法の進展と今後の発展と課題について」

岩根 敦子 教授 (理化学研究所, 大阪大学生命機能研究科, 広島大学理学研究科)

5. 総合討論・質問コーナー



●アクセス

バス: JR広島駅からアルパーク方面行広島バス(50(東西)号線)
日赤前下車 徒歩2分
市内電車: JR広島駅から紙屋町経由広島港行 広電(1号線)
日赤病院前下車 徒歩3分

●お問い合わせ

広島大学 理学融合教育研究センター事務室
TEL: 082-424-4384
E-mail: ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp
ホームページ: <https://www.hiroshima-u.ac.jp/rigakuyugo>